



花き生産情報第4号

平成29年7月20日発表
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

換気や遮光をこまめに行うなど、ハウス内の温湿度管理を徹底しましょう。
切り花の品質保持のため、収穫は涼しい時間帯に行いましょう。

夏秋ギク

1 生育状況

生育は概ね順調である。
アザミウマ類、アブラムシ類の発生が散見される。

表1 夏秋ギクの生育状況（7月10日現在）

場所	年次	品種	定植月日 (月日)	草丈 (cm)	葉数 (枚)	備考
新郷村	本年	精の一世	4月21日	104.0	50.0	無摘心
	前年	精の一世	4月18日	109.8	51.8	無摘心
	平年	精の一世	4月17日	109.7	55.4	無摘心
平川市	本年	岩の白扇	4月25日	65.7	34.7	3本仕立て
	前年	岩の白扇	4月30日	95.0	38.7	2本仕立て
	一昨年	岩の白扇	5月2日	91.8	49.6	無摘心

(注) 新郷村の平年値：平成26年～28年の平均値
平川市の平年値：平成28年から仕立て方法の変更によりなし

2 今後の作業

(1) 病害虫の防除

白さび病は、発らい時から発生しやすくなるので、換気をこまめに行い、早期発見・早期防除に努める。

アザミウマ類、ヤガ類、ハモグリバエ類、ハダニ類の発生に注意し、早期発見・早期防除に努める。

(2) 収穫

切り前は3分咲きを目安とするが、出荷先により異なるため事前に確認する。

収穫時に降雨により濡れた場合は、輸送中に腐敗する恐れがあるので、十分に風乾してから箱詰めする。

秋ギク

1 生育状況

定植後の生育は概ね順調である。
病害虫の発生は見られない。

2 今後の作業

(1) 定植後の管理

ハウス内が高湿・過湿にならないように換気するほか、循環扇、寒冷紗等を活用

し、温湿度管理を徹底する。

活着までは葉水(はみず)程度のかん水をこまめに行い、活着後は乾燥状況を見ながらかん水する。

(2) 病虫害防除

夏秋ギクに準ずる。

トルコギキョウ

1 生育状況

生育は概ね順調である。

病虫害の発生はほとんど見られない。

表3 トルコギキョウの生育状況(7月10日現在)

場所	年次	品種	定植月日 (月日)	草丈 (cm)	節数 (節)
青森市	本年	はるか	4月13日	39.1	12.5
	前年	はるか	4月1日	39.0	13.3
	一昨年	はるか	4月11日	29.3	13.4
田舎館村	本年	セブピンク	4月8日	53.5	15.6
	前年	セブピンク	4月26日	47.3	13.2
	平年	セブピンク	4月21日	49.9	13.5

(注) 青森市の平年値：平成27年から品種の変更によりなし

田舎館村の平年値：平成25～28年の平均値

2 今後の作業

(1) かん水

発らいまでは十分にかん水し、発らい後はしおれない程度にかん水を減らし軟弱徒長を防ぐ。

(2) 温湿度管理

ハウス内が高温・過湿にならないように換気するほか、循環扇、寒冷紗等を活用し、温湿度管理を徹底する。

(3) 側枝等の整理

不要な側枝を早めに摘み取る。また、1番花も早めに除去し、上位節から発生する分枝の伸長を促す。

(4) 病虫害防除

アザミウマ類やヤガ類の発生が多くなる時期なので、早期発見・早期防除に努める。

(5) チップバーンの対策

チップバーンの発生しやすい品種では、カルシウム剤を葉面散布する。

(6) 収穫

涼しい時間帯に収穫し、鮮度保持処理を行う。

花き生産指導情報第5号は平成29年8月18日発行の予定です。

◎決め手は土づくり！日本一健康な土づくり運動展開中！

◎農薬は適正に使用しましょう。

1 農薬の飛散を防止する！

- 2 農薬は使い切り、河川等へ絶対捨てない！
 - 3 農薬を使用する場合には、必ず最新の農薬登録内容を確認！
- 農薬情報 (http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/)
農薬登録情報検索システム (<http://www.acis.famic.go.jp/search/vtllp301.jsp>)
-

◎農作業中は熱中症に気をつけましょう。

- 1 日中の暑い時間帯は作業を避けるとともに休憩をこまめにとる！
 - 2 通気性の良い作業着や帽子を着用し、汗で失われる水分や塩分を十分に補給する！
-

連絡先	農産園芸課野菜・畑作物振興グループ
県庁内線	5080
直通	017-734-9485
